

『中学生と生老病死を考える』

—宗教情操涵養に関する一考察—

近 藤 辰 巳

【はじめに】

本稿は、東海中学校において、中学2年生を対象に行われている宗教¹⁾の授業のうち、「いのち」の授業に関する報告を行う中で、学校教育における仏教教育の実践がいかにあるべきかの提言を試みることを主な内容とする。

「いのち」の授業内容を概説すると、「映像視聴や、諸作業を通じて中学生と《いのち》について考える時間を共有する中で、彼らの宗教情操の涵養を期待しつつ、最終的には仏教的縁起の立場から生老病死を捉えなおす機会を提供する教育実践」とまとめられる。

以下において、まず「いのち」を「始まり」・「継続」・「終焉」の三つの局面に分割し、それぞれについて中学生と共に考察を進めた授業内容を報告した上で、仏教的縁起の立場を明らかにしつつ、上記の提言を試験的に示してゆきたい。

【「いのち」の始まり…「生」についての考察】（縦のともいきへのアプローチ）

<考察の目的>

理系に進学する生徒が極めて多い本校において、「いのち」を考える授業の導入として、無事に産まれてあたりまえの時代に「生」を受けた中学生とともに、まだ歴史の浅い新生児医療について学んだ上で、固定点的にとらえがちな、いのちの始まりについて、「DNAの連鎖（受け渡し）」という観点から再検討を試み、「生」に対する認識を深めることを目的とする。

<使用教材>

1. 『プロジェクトX「耳を澄ませ 赤ちゃんの声」～伝説のパルモア病院誕生』

2001年放送

〔内容要約〕

1960年代に、婦人医療と小児医療をつなぐ新たな新生児医療を始めたある病院の記録VTR。この試み以前は、先天性生活力薄弱などの病名のもと、多くの未熟児などが見捨てられていたが、これ以降日本の新生児医療は飛躍的に発達し、現在では1000人中の内、命を落とす新生児は4人以下になっている。

2. 『NHKスペシャル 「驚異の小宇宙」 人体 vol.1 生命誕生』1989年放送

〔内容要約〕

いのちを35億年前からのDNA連鎖の立場から捉えつつ、卵子放出の瞬間から受精、そして誕生までを鮮明な映像によって捉えたVTR。

<作業教材>

1. 家系図作成

*名前などが不明であっても、3~4代まではおおよそで、8~9代までは連続性のみを記入させる⇒A3用紙がいっぱいになることを実感させる

2. 「あなたのいのちはいつ始まったか?」「あなたはいつ生まれたか?」に関するアンケート

*調査を行い、各自の立場をそれぞれ発表させる。

〔調査用紙の実物〕

◎生命の「誕生」について

ビデオ『耳を澄ませ 赤ちゃんの声』・ビデオ『驚異の小宇宙・人体 Vol.1 生命誕生』・

『「いのち」レポート No.1』などを参考にして、以下の事を考えてみよう。

問1: 人間はいつ「いのち」を持つのでしょうか

問2: 人間はいつ「生まれる」のでしょうか

君はどう考えますか。下の中から選んで、それぞれ○で囲みなさい。

1. 35億年前地球上に最初の生命が誕生した時
2. 卵子や精子の状態にいるとき
3. 受精卵の状態のとき
4. 受精卵が子宮に着床したとき (母親が妊娠したとき)
5. 心臓の鼓動が始まったとき

6. 法律上、胎児が人工妊娠中絶をしてはいけない日数にまで成長したとき
(日本では『母体保護法』により妊娠して22週以降は人工妊娠中絶できない。)
7. 赤ちゃんが出産され、母体の外に出たとき
8. 特定できない
9. その他 ()

問1の回答⇒

【理由】

問2の回答⇒

【理由】

2年 組 番 氏名

<考察の展開>

いのちの始まりについて、単に誕生日をイメージするのではなく、DNAの連鎖がどこかで途絶えていた場合、あるいは、系図の一人を消した場合などを共通の話題とし、いのちの始まりを連続性の中でイメージできるようにする。

また、二つに質問に対する各自の回答の理由を含めた発表を通じて、それぞれの考え方の違いを学ぶとともに、自分の考えを再度検証する機会を十分に与える。²⁾

【「いのち」の継続…「老」・「病」についての考察】(横のともいきへのアプローチ)

<考察の目的>

臓器移植・ES細胞・iPS細胞など最先端の医療について、映像や報道などから学び、近未来に訪れるであろう社会を想像しながら、「老」や「病」について具体的に考える機会を提供し、それぞれに関わる問題点などを共有する中で、各自の考えを深めてゆく。

<使用教材>

1. 『NHKスペシャル「世紀を超えて いのち 生老病死の未来」』、2000年放送

① 「人体改造時代の衝撃」

〔内容要約〕

I. 豚の肝臓で体外灌流

1997年アメリカの例。劇症肝炎で瀕死となり緊急の肝臓移植が必要となったが、ドナーが見つからない状況の中で、機能しなくなった患者の肝臓の代わりに、生きた豚の肝臓に患者の血管をつなぎ、血液の浄化を試みた。その約6時間の間にドナーが見つかり、移植手術は成功した。

II. ひとつの命を救うためにもうひとつの命を利用する

1990年アメリカの例。娘が骨髄性白血病にかかるが、血液の型が特殊なため、ドナー適合者が見つからなかった。そこで両親はもうひとり子ども（姉妹であれば、適合率は25%となる）を産み、その子の骨髄の一部を移植することに賭けた。両親の願い通り型は適合し、生まれた子が1歳になるのを待って、移植が行われ、現在も姉妹は元気に過ごしている。

III. 自分のクローン作製を希望する女性 (1)

アメリカの27歳の女性。腎臓の移植手術を受けたが、拒絶反応が強く、免疫抑制剤の強い副作用に悩まされている。自分のクローンをつくり、その腎臓を移植すれば拒絶反応に悩まされることはないので、クローン作製の希望を強く持っている。

IV. 自分のクローン作製を希望する女性 (2)

アメリカの51歳の女性。未婚のまま子宮と卵巣を切除。自分の家系の遺伝子を後世に残す手段として、クローン作製を希望する。

V. ヒトES細胞研究

ヒトES細胞が発見され、これを元にした臓器作成研究が急速に展開されている。この技術をクローン技術を応用すれば、移植臓器の不足問題は解消され、ビックビジネスの可能性はあるが、この細胞は受精卵からのみ抽出が可能であるので、命の商品化につながる恐れがある。³⁾

②「遺伝子診断」

〔内容要約〕

I. 乳がんの発症の可能性を高める遺伝子が見つかり、親族に乳がん患者が多かった女性が遺伝子診断を受けた。その結果、乳がんの発症する確率がかな

り高いという診断を受けて、発症前に乳房の切除を決断した。

- II. 生まれたばかりの子の遺伝子診断を行い、将来糖尿病になる確率が高いと診断され、その子の将来に備え、家族の食生活を大きく変更した。
- III. 若年性アルツハイマーの発症の可能性を高める遺伝子が見つかり、親族にアルツハイマー患者が多かった男性が遺伝子診断を受けた。その結果、アルツハイマーの発症する確率がかなり高いという診断を受けたが、有効な対処法や治療法がない中で、発症していないにも関わらず彼はうつ状態となり、カウンセリングを受けている。
- IV. 第1子が障害を持って生まれたため、第2子は20個あまりの受精卵をつくり、その中から障害を起こす遺伝子を受け継いでいない受精卵を選別し、子宮に戻して出産した。残りの受精卵は破棄された。

③「脳死移植」

〔内容要約〕

I. 移植医療の成功例

全米障害者スポーツ大会の映像を通じて、移植医療の拡大と、一人の患者がすべての臓器提供に同意すれば、70人の患者を救うことができるなどの成功例についての紹介。

II. ドナーの家族の心のケアの問題

家族の脳死判定後、移植コーディネーターの勧めに従い、移植に同意したことを後に公開する例。移植コーディネーターも同席し、家族の会を開き、心情を訴え合う。

III. レシピエントの心のケアの問題

心臓移植を受けた医者为例

移植待機の期間：脳死になりそうな不幸な事故を探す毎日

移植後：免疫抑制剤による副作用や移植を受けた心臓の異物感に悩まされる

今後：二度目の移植を受けることに躊躇している

IV. 移植技術の進歩

今日では、両手同時移植などの高度な技術も開発されている

V. 日本の移植事情

1997年に「臓器の移植に関する法律（臓器移植法）」成立したが、その後さまざまな啓発活動を行うも、提供される臓器の数は増えていないのが現状。⁴⁾

VI. ヨーロッパにおける臓器不足解消の例

オランダの例：18歳以上の全員に臓器提供の意思確認を求めたが、未回答を認めたため、十分な同意が得られなかった。⁵⁾

イタリアの例：オランダ同様に18歳以上の全員に臓器提供の意思確認を求め、3か月以内に回答されない場合は、提供に同意したとみなすことにした。また、提供する臓器の種類も選べない。

VII. ドナーの家族がレシピエントに面会を求める事例

さまざまな条件⁶⁾に関する両者の同意をもとに、臓器提供に関わる「匿名の原則」を放棄し、面会に道を開いたアメリカの例。

2. 医療に関する最新技術を報じた新聞記事他⁷⁾

①米バイオ企業のアドバンスド・セル・テクノロジー社は23日、あらゆる細胞に変化できるES細胞（胚性幹細胞）から作った網膜細胞を、ものがほとんど見えない患者2人に移植して視力を回復させることに成功したと発表した。英医学誌ランセットに掲載された。ES細胞を使った治療で効果が論文として報告されたのは初めて。

同社は2010年11月から、ともに網膜に原因があって視力が低下した加齢黄斑変性症の70歳代女性と、スターガート病の50歳代女性に臨床試験を実施。ES細胞から作った網膜色素上皮細胞5万個を、片側の目に移植した。

その結果、70歳代女性はそれまで手の動きしか識別できなかったが、移植の1週間後には指の本数を数えられるようになった。50歳代女性も識別できる文字の数が増えたという。手術から4か月が経過した時点でも、移植した細胞の異常増殖など、安全上の問題は見られないという。同社は、さらに多くの患者で安全性と有効性を確認する。（読売新聞 2012年1月25日（水）1

時 23 分配信)

- ②同じ遺伝情報を持つ細胞を作る「クローン技術」を使って、様々な細胞に変化する能力を持つ、人の ES 細胞（胚性幹細胞）を世界で初めて作製したと、米オレゴン健康科学大の立花真仁（まさひと）研究員らが 15 日、米科学誌セルに発表した。患者と同じ遺伝情報を持つ心筋や神経細胞などを作り出せれば、山中伸弥・京大教授が作製した iPS 細胞（人工多能性幹細胞）と同様に、再生医療に応用することが可能になる。

研究チームは、健康な女性が提供した卵子から、遺伝情報の入った「核」を取り除き、別人の皮膚細胞の核を移植。150 個ほどまで細胞分裂させた「胚盤胞（はいばんほう）」という状態に育て、ES 細胞を作製した。マウスやサルでは成功していたが、人では核移植した卵子を胚盤胞まで育てるのは難しかった。既存の手法を改良し克服した。（読売新聞 2013 年 5 月 16 日（木）1 時 1 分配信)

<作業教材>

1. ドナーカード作成

〔教材の実物〕

*本カードは、教材用見本であり、記入者本人の意思を表示するものではありません。

臓器提供意思表示カード（教材用見本）

≪ 1.2.3. のいずれかの番号を○で囲んで下さい ≫

1. 私は、脳死後及び心臓が停止した死後のいずれでも移植の為に臓器を提供します。
2. 私は、心臓が停止した死後に限り、移植の為に臓器を提供します。
3. 私は、臓器を提供しません。

≪ 1 又は 2 を選んだ方で、提供したくない臓器があれば、×をつけてください。 ≫

【 心臓 ・ 肺 ・ 肝臓 ・ 腎臓 ・ 膵臓 ・ 小腸 ・ 眼球 】

署名年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

本人署名（自筆）： _____

家族署名（自筆）： _____

<考察の展開>

我々がいかに「いのち」をつないでいくかについて、最先端の医療技術を学びながら、自己のいのち・人権問題・脳死の問題などについて考察を深める。その過程において、医療技術の発達とともに訪れるであろう「明るい未来」に関心が集中することなく、同時に「暗い未来」への予測も議論を通じて考察の対象とするべきである⁸⁾。更に、脳死判定基準については、賛否両論や基準に関しても様々な意見があることを紹介し、「生」と「死」の境界線を人為的に引くことの困難さについて認識が共有できるように留意されねばならない。⁹⁾

【「いのち」の終わり…「死」についての考察】

<考察の目的>

現在わが国で起こっている「無縁死」という問題について学びつつ、中学生にとっては遙か彼方にある「死」を、将来自分に必ず起こりうる現実として直視する機会を与え、自らの「死」に関する認識を新たにすることで、社会問題に関しても目を向けさせてゆく。

<使用教材>

1. 『NHK スペシャル 「無縁社会 ～無縁死 3万2千人の衝撃～」』、2010年放送

〔内容要約〕

I. 無縁死の実態

全国すべての自治体に対して番組スタッフがアンケート調査をしたところ、1年間で3万2千人もの人が、孤独のままに死を迎えていたことがわかった。

II. 東京大田区の行旅死亡人の例

地方出身の単身者が死後1週間たって、コタツに座ったまま亡くなっていたのが発見された。発見当時身元が不明であったため官報の行旅死亡人の欄に氏名不詳のまま掲載された。番組スタッフの調査により、アパートの契約書から氏名が判明し、勤め先に提出された履歴書から本籍が判明。¹⁰⁾スタッフが現地を訪れるも、当地に身寄りはなく遺骨の引き取り手もいなかった。

Ⅲ. 引き取り手のいない遺骨

身元不明者の遺品などの整理は特殊清掃業者が行うことが多いが、その際遺骨は処理できないので、引き取ってくれる寺院へ宅配便で送付される。寺院によれば、その数は年々増え続け、とくに都市部からの送付が多いとのこと

Ⅳ. 死亡後、親族が引き取りを拒否した場合

55歳の単身者が、死後1カ月を経て発見された。このケースは、叔父や兄と連絡がついたが、叔父は戒名をつけてもらい供養はしてゆくが遺骨の引き取りは断った。最終的に兄が献体に同意し、大学病院に送られた。

Ⅴ. 単身者の死後の手続きを行う NPO 法人に入会した男性

58歳で自分の死後、葬儀・納骨・遺品の整理などを請け負う NPO の入会した男性は、高校卒業後大手都銀に入行し、仕事一筋に生きてきた。しかし、定年を前に熟年離婚し、2人の子どもは妻が引き取り単身となった。すでに40代でからだをこわしており、自分の老後を極めて不安に感じている。

Ⅵ. NPO の共同墓地を生前予約した、未婚の女性

早くに父を亡くし、一人で家族を支える中、生涯未婚¹¹⁾のままごし、現在はマンションに一人暮らし。動けなくなったときのために、3カ月分の食糧を備蓄をしている。自分が死んでいることに誰も気づかないのではないかという強い不安がある。

Ⅶ. 死後1カ月を経て発見された未婚の男性

部屋にあった留守番電話には、死を知らない姉からのメッセージが数件残されていた。

Ⅷ. 離婚後、新たな人間関係を築いた男性

30代で離婚し、単身上京し、仕事はしていたが、引きこもりがちで孤独な生活をしてきた。その男性を心配した、隣家の姉妹が訪ねてくるようになり、その子たちと家族同然の生活をする中で、孤独感を回復してゆき、自作のアルバムを姉妹に遺した。

<作業教材>

1. 上記教材の視聴前と視聴後に結婚観・家族観などに関してアンケートを実施
〔アンケートの実物〕

【視聴前調査】

①結婚したいか： Yes No (⇒ Yes の場合は何歳ごろ結婚したいか？ 才)

②子どもは欲しいか： Yes No (⇒ Yes の場合は何人くらい欲しいか？ 人)

③将来、親との同居を希望するか

自分が結婚した場合： Yes No

自分が結婚しない場合： Yes No

④将来、子どもとの同居を希望するか

子どもが結婚した場合： Yes No

子どもが結婚しない場合： Yes No

【視聴後調査】

①結婚したいか： Yes No (⇒ Yes の場合は何歳ごろ結婚したいか？ 才)

②子どもは欲しいか： Yes No (⇒ Yes の場合は何人くらい欲しいか？ 人)

③将来、親との同居を希望するか

自分が結婚した場合： Yes No

自分が結婚しない場合： Yes No

④将来、子どもとの同居を希望するか

子どもが結婚した場合： Yes No

子どもが結婚しない場合： Yes No

【自分の考えが変わった理由/変わらなかった理由】

2年 組 番 名前

<考察の展開>

アンケート結果¹²⁾を生徒とともに分析する中で、医療技術が発達し、また、晩婚・未婚化が顕著となり、少子高齢化が急速に進む今日の日本で、現在「生」のただ中にある中学生であっても、「死」そのものではなく、「死を迎える状況」などを意識した場合には、多くの生徒が個人主義から離れ、家族などとの関わりを求める傾向が強くなることを確認する¹³⁾。

【縁起の解説】（縦横のともいきへのアプローチ）

<解説の目的>

仏教思想の根幹である「縁起」の思想を、「ともいき」の立場も視野にいれつつ、中学生にも分かりやすく解説し、「いのちの連続性」あるいは「いのちの関わり合い」に関する理解を促す。

<使用教材>

1. 涅槃会の際に配布した啓発プリント（独自教材）

勤儉先生：今日は、「縁起」についてお話ししよう。

誠実君：たしか、お釈迦さまのさとりの内容が「縁起」でしたよね。

勤儉：よく覚えているね。お釈迦さまは「縁起」をさとり、苦しみのない涅槃の境地に至ったんだ。

誠実：老病死という苦しみのない境地ですよ。だから、お釈迦さまに対して「死んだ」とは言わないでしたね。¹⁴⁾

勤儉：だから、お釈迦さまが亡くなられたことを、「涅槃に入られた」とか「入滅した」とか言うんだよ。さて、誠実君は「縁起」と聞くとどんなイメージをもつかな？

誠実：「縁起」が良いとか、悪いとかいいますよね。何かをした結果、良いことや悪いことが起こるとか、「めぐり合わせ」とか、うまくいえませんが…

勤儉：そうだよ。いい線いってると思うよ。何かしら事柄が連続しているというようなイメージかな？

誠実：はい。そんな感じです。

勤儉：「縁起」は、一般には「縁^よって起^{おこ}る」と読むんだ。そして、「前の状態が原因となって次の状態が起こってくる」というような意味なんだよ。

誠実：そんなこと当たり前じゃないですか。それがお釈迦さまの悟りの内容なんですか？

勤儉：そうなんだ。お釈迦さまは何か新しいことを発見したわけでも、発明したわけでもなく、当たり前のことに気づいただけなんだ。

誠実：当たり前のことに気づいただけで、死の苦しみを越えられるのですか？

勤儉：ともかく、その当たり前のことをもう少しじっくり考えてみよう。

「縁起」を考える場合のキーワードは「連続性」なんだ。前の状態から次の状態という変化が間断なく連続して起こると考えるんだ。仏教の祖師たちは「縁起」を説明する場合に、いろいろな例をあげているけど、今は身近な例をとって考えてみよう。君の「いのち」はいつ始まったの？

誠実：平成15年4月8日です。

勤儉：それは誕生日でしょ？それ以前は、君の「いのち」はなかったの？例えば、お母さんのおなかの中で死んでた？

誠実：生きてました！だから、お母さんのおなかの中で心臓ができた時に「いのち」が始まりました。

勤儉：じゃあ、それ以前は、君の「いのち」はなかったの？例えば、精子や卵子の状態の時はどうだろう？

誠実：僕の「いのち」とはいいがたいけど、確かに何かしら「いのち」のようなものの存在は感じます。

勤儉：そうだよな。つまり君の「いのち」とご両親の「いのち」がつながっていることに気づいた？つまり、君の「いのち」はなにかの拍子に突然始まったわけではなく、ご両親の体の中ですでに始まっていると考えられるよね。

誠実：少なくとも、連続していることは事実だと思います。僕は突然生まれたのではなく、父や母の細胞が、少しずつ変化して、今の僕になっているし、これからもその変化は続くと思う。

勤儉：そう。そして、ご両親はそれぞれのご両親とつながっている。この連続は、太古の昔まで続くよね。それらを「縦の連続」と考えると、食物連鎖なんかは「横の連続」と考えられるんじゃないかな。植物を草食動物が食べ、一部はその細胞となり、一部は排泄される。細胞となった部分は肉食獣に食され、排泄された部分は、バクテリアなどによって分解され、土壌になる。土の中の養分は植物によって取り込まれる・・・非常に大雑把に説明したので不十分なところもあるかもしれないけど、無からはなにも生じないし、現存するものは決して無くならないということはわかったと思う。

誠実：状態が変化するだけですな。

勤儉：そのとおり。例えば、私は、適当に栄養分などを補給しながら、ずっと昔から、状態が変化してきて、たまたま今は、君の目の前にいるような状態をとっているということなんだ。また、今後も変化し続けて、心臓が動いている状態から動いていない状態へと変化していく。

誠実：死ぬってことですか？

勤儉：「死ぬこと」は「生まれること」が前提だよ。でもさっき考えたように、「いのち」の始まりが確定できないのに、「いのち」の終わりが確定できるのだろうか？ また、死については、全く別に次のようにも考えられる。仮に「いのち」というものに終わりがあるとして、それはいつなんだろうか？ 脳の機能が停止した時？ 呼吸が止まった時？ 心臓が止まった時？ それぞれ微妙に違うよね。

誠実：臓器移植でも、そのあたりが問題になりますよね。

勤儉：そう。「いのち」の始まりがそうであったのと同じように、いわゆる死に関しても、その周辺の状態はすべて連続していて、ここから前が「生」で、ここから後が「死」とあるという線は引けないんだ。それを無理に引こうとしたのが「脳死判定基準」だよ。

誠実：死の瞬間を人為的に決めたのですね。

勤儉：心臓が止まり、呼吸をしなくなって1ヶ月ぐらいした人をみれば、確かに「死んだ」と思うかもしれないけど、1ヶ月前に「生きていた」時と、「死んでいる」今との間に明確な境界線は引けないはずだよ。つまり、連続性をもった状態の変化であると考えられる。

誠実：「いのち」は始まりも、終わりも特定できない！

勤儉：そのとおり。そもそも「いのち」を自分のものと考え、始まりや終わりを考えざるを得なくなるんだ。連続する「いのち」の、どこからどこまでが君の「いのち」なんだろうか？

誠実：始まりも終わりも境界線は引けない・・・

勤儉：じゃあ。君の「いのち」はないの？

誠実：いいえ。僕は生きています！

勤儉：そのような連続性が認められるすべての「いのち」のありようを「網」に

たとえてみよう。「網」は縦の紐と横の紐で編んであり、それぞれが交差しているよね。四隅が無限に広がる「網」を想像してみて。そして紐の交差点の一つ一つが、「いのち」をもった存在だと思って下さい。すべての「いのち」はありありと実在するけど、ある一つの「いのち」をその「網」から取り出すことはできないよね。すべての交差点はつながっているから。

誠実：「いのち」は自分だけのものではない。すべての「いのち」はつながっている。すべての「いのち」は突然発生するものではなく、あらゆる存在と関連し、連続しながら存在している。あるいは、すべての「いのち」は一つとも考えられる。

勤儉：そのとおり。そのようなありようを、「縁起」というんだ。そして、お釈迦さまは「縁起」をさとり、老病死という苦しみを滅したんだ。「私」という存在を取り出すことができないから、苦しみを感ずる主体が無くなってしまったよ。つまり、「苦しんでいる私」が確定できないことになる。『「私」は『私個人』として存在する』というように考えることが間違っていることに気づいたんだよ。一方で、すべての存在は関わりあい、連続している。だからこそ、「いのち」は大切なんだ。個人のものとは考えられないからね。

また、仮に苦しんでいる人がいれば、それは決して他人事ではないよね。だって自分と他人の境界線は引けないんだから。だからこそ、人は他人に対して慈しみの心をもてるんだ。正確には、「どうしてももってしまう」ともいえる。例えば、おなかが痛いときは自然に手がそこへいくよね。それと同じ事が、すべての存在の間で行われるはずなんだ。

また、他との区別がないんだから、すべては平等と考えられる。カースト制度が社会のシステムであるインドにあって、お釈迦さまが平等を説いた理由はここにあるんだ。仏教の根幹である「慈悲」と「平等」は、「縁起」の正しい理解から生じる必然的な態度なんだよ。

【まとめ】

これまで考察を続けてきた、「いのちの連続性」や「社会における他者との関わり合い」などと、最後に学んだ「縁起観」とを総合し、生老病死に関する生徒

各自の理解を再確認して、一連の授業まとめとする。

以上の試みから、教育現場における仏教教育の実践が、仏教思想をしっかりと根底に据えた上で、現代における諸問題との関連の中で行われるべきであるという提言をもって本稿の結びとする

注：

- 1) 中学校1年生では、東海学園の歴史・釈尊伝・法然上人伝などを、2年生では、仏教東漸・いのち・社会奉仕などを、3年生では戦争と平和・浄土宗の教義などを学習する。本稿はそのうち、「いのち」に関する学習の報告である。

- 2) * アンケート結果

質問①：いつ「いのち」をもつか？（回答数 117 名）

項目	割合
1. 35億年前地球上に最初の生命が誕生した時	14.5%
2. 卵子や精子の状態にいるとき	5.1%
3. 受精卵の状態のとき	35.9%
4. 受精卵が子宮に着床したとき（母親が妊娠したとき）	11.1%
5. 心臓の鼓動が始まったとき	24.8%
6. 法律上、胎児が人工妊娠中絶をしてはいけない日数にまで成長したとき	0%
7. 赤ちゃんが産まれ、母体の外に出たとき	1.7%
8. 特定できない	1.7%
9. その他	5.2%

[主な理由]

1	人間が出現する可能性が生まれたから
	このときから、情報伝達が連綿とつづいているから
2	精子や卵子も活動しているので、命をもっていると思う
	細胞分裂が始まるから
3	性別が決まるから
	遺伝情報が合わせられるから
	ただの受精卵がこれ以降、人へと成長するから
4	「宿す」感じがする
	心臓が動くこと=いのちを持つ
5	音が聞こえる
	心臓が止まると死ぬからその反対

7	自分の意思で動きはじめるから
8	いのちはずっと続いているから
9	輪廻転生を信じているから、過去から未来へ永遠に続く
	自我に目覚めたとき
	宇宙の創始

質問②：いつ「生まれる」か？（回答数119名）

項目	割合
1. 35億年前地球上に最初の生命が誕生した時	4.2%
2. 卵子や精子の状態にいるとき	0.8%
3. 受精卵の状態のとき	9.2%
4. 受精卵が子宮に着床したとき（母親が妊娠したとき）	4.2%
5. 心臓の鼓動が始まったとき	7.6%
6. 法律上、胎児が人工妊娠中絶をしてはいけない日数にまで成長したとき	0%
7. 赤ちゃんが出産され、母体の外に出たとき	68.1%
8. 特定できない	1.7%
9. その他	4.2%

[主な理由]

1	ともかく、このときからうまれたんだ！
	胎内で、進化を忠実に再現するから
3	成長がはじまるから
4	
5	心臓が動いていれば、生きているといえるから
6	
7	一人の人間として独立するから
	この日が誕生日だから
	肺呼吸をはじめめるから
9	産声をあげたとき（自発呼吸をはじめたとき）
	自我に目覚めたとき

- ES細胞が持つこれらの倫理的問題を一挙に解決するのが、iPS細胞の技術であるが、この記録VTRが作成された当時はいまだ成果が発表されていなかった。この点に留意しながら考察を進める必要がある。
- 2010年の法改正により、本人の意思が不明な場合は家族の同意のみで提供が可能となり、15歳未満の患者からの臓器提供にも道が開かれた。

- 5) 未回答 44%。臓器提供に同意 20%という結果であった。
- 6) 臓器移植ネットワークの担当者たちは、予想される事態として、ドナー側からは、金銭の要求・深い人間関係の要求、レシピエント側からは、拒絶反応などに対する逆恨みなどを想定した。
- 7) 紙面の都合上、ごく一部のみを掲載した。
- 8) 使用教材の中でも、このような高度の医療を受けられる層の人間と、そうでない人間の二局分裂がおこるなどの予測がされていたが、本校において多くの生徒が予測した「暗い未来」としては、福祉財政の問題・クローンの人権の問題・老人増加の問題などが挙げられる。
- 9) このことが、後に考察する「縁起」の理解に深く関係してくる。本稿 p.11 以下参照。
- 10) 身元不明の死者については、各自治体の予算で火葬までは行われるが、細かな身元調査まではなされずに、官報に行旅死亡人として記載されるのみにとどまることが多い。
- 11) 2015 年の厚生労働白書によれば、50 歳の時点で一度も結婚したことのない人の割合を示す「生涯未婚率」は、現在は、男性が 20.1%、女性が 10.6%だが、2035 年には、男性は 29.0%、女性は、19.2%と予測されている。
- 12) *アンケートの結果（回答数 115 名。紙面の都合上 yes のみを記し、また一部回答は省略した）

番号	項目	回答	視聴前	視聴後	増減
①	結婚したいか	yes	101	105	4
②	子どもがほしいか	yes	95	100	5
③	結婚後親と同居したいか	yes	14	36	22
④	未婚時親と同居したいか	yes	24	40	16
⑤	子の結婚後子と同居したいか	yes	14	40	26
⑥	子が未婚時子と同居したいか	yes	41	72	31

いずれの項目においても、視聴後の数が視聴前を上回っている。特に親や、自分の子との同居願望が大きく増加していることが見て取れる。

以下に、生徒が記した「理由」を場合に分けて一部を紹介する。

<結婚願望があり、子どもが欲しいグループのうち、親との同居を希望するかの質問に対する回答が「同居しない」から「同居したい」に変化した場合>の理由

- ・無縁死がいかに寂しいものであるかを痛感したから
- ・孤独死という言葉に強い不安を抱いたから
- ・性格的に対人関係に不安があるので、やはり親子関係を大切にしたいから

<結婚願望があり、子どもが欲しいグループのうち、親との同居を希望するかの質問に対する回答が変化しなかった場合>の理由

- ・老人ホームなどに入れば、無縁死はさげられるから
- ・親子であってもある程度は距離を保って暮らしたい。但し、孤独死はしたくないので、死が近づいてきたら同居したい。

・人間関係は親子のみではないので、VTRの例のように、隣人など地域との関わりの中で生きてゆく方法もあると思うから。

13) やや行き過ぎた感のある現代の個人主義を再考する視点として注目してよいと考える。

14) これ以前に配布したプリントに詳しく説明しているが、本稿では文字数の都合で記載は省略した。

参考文献：*本稿中に「使用教材」として記載したものを以て参考文献にかえる。

付記：本稿において紹介した、発展途上にして不完全な実践をより良いものにしてゆくためにも、多くのご指導・ご助言を賜りたい。

キーワード：生老病死・縁起・いのち・無縁社会・臓器移植

(こんどう たつみ 東海中学校・高等学校 宗教学監)